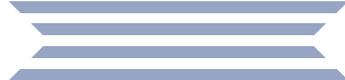


基本目標 3



豊かな心と 学ぶ力を育むまち

教育 文化 スポーツ

生涯にわたって学びを続け、豊かな人生を送ることができるよう、学びのための環境整備を進めるとともに、新たな未来を拓くため、地域と連携して子ども達の成長を支え、豊かな心や学ぶ力を育む教育の充実を図ります。

また、市民の郷土を尊重する心を育むため、芸術文化活動の充実や歴史・文化財の伝承を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション活動などを通して、生きがいをもって暮らすことができるまちを目指します。

施策 3-1	(生涯学習)	68
	生涯にわたって誰もが学び、その成果を活かすことのできるまちづくり	
施策 3-2	(学校教育)	70
	子どもたちの生きる力を育み、可能性を広げるまちづくり	
施策 3-3	(社会教育)	74
	地域とのつながりを育み、学ぶ環境の充実したまちづくり	
施策 3-4	(芸術・文化・文化財)	76
	文化に親しみ郷土への誇りを育むまちづくり	
施策 3-5	(スポーツ)	78
	スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康的で生きがいのある暮らしを推進するまちづくり	

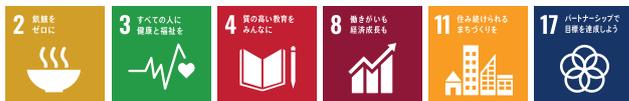
基本目標 ③ 豊かな心と学ぶ力を育むまち

施策
3-1

(生涯学習)

生涯にわたって誰もが学び、その成果を活かすことのできるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

豊かな人生を送ることのできるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所で学ぶことができ、学びの成果を適切に活かすことのできるまちを目指します。

現状と課題

教育を取り巻く社会情勢が刻々と変化する中、市民一人ひとりが生きがいを持ち、より豊かな人生を送るため、生涯にわたってあらゆる機会にあらゆる場所で学習ができ、その成果を社会の中で活かすことのできる生涯学習社会を実現していくことが求められています。

そのため、生涯学習に関する情報提供の手段拡大や提供内容の充実を図ることにより、学びを支援して個人の成長につなげていく必要があります。

また、社会的・地域的な課題解決や市民一人ひとりのニーズに対応した学びをより啓発していくことのほか、学んだ成果が発揮できる場を構築していく必要があります。

さらに、生涯学習を実践している活動団体に対して、継続的に支援を行っていくとともに、新たな人材の発掘、育成、活用を図り、生涯学習社会を推進していく必要があります。



生涯学習市民の集い

基本事業とねらい

基本事業

① 生涯学習の推進

社会や地域の変化に伴って直面する課題の解決や地域活性化につながる学びのきっかけづくりを進め、その成果を活用できる場を提供し、持続的な学びと活動の循環につながるよう、情報提供や体制づくりを推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
生涯学習環境に満足している市民の割合 (単位：%)	18.2	34.1	50.0	市民アンケートで、「満足」・「やや満足」と回答した市民の割合

関係個別計画

- ・砂川市教育目標（砂川市教育推進計画）
- ・砂川市子ども・子育て支援事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画



生涯学習市民の集い

基本目標 3 豊かな心と学ぶ力を育むまち

施策
3-2

(学校教育)

子どもたちの生きる力を育み、可能性を広げるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

子どもたちがこれからの社会を生き抜き新たな未来を拓くために、確かな学力、豊かな心、健やかな心身を育み、生涯にわたって学ぶ力を身に付け可能性を広げていく、教育の充実したまちを目指します。

現状と課題

グローバル化^{*}、高度情報化が急速に進展し予測が困難とされる社会においては、これからの社会を生き抜き、新たな未来を拓くための「生きる力」を育む教育の一層の推進や、生涯にわたって学び、活躍し続ける力を身に付けていくことが求められています。

地域との連携においては、教育課題へのより効果的な対応や持続可能な地域の発展のために、目標やビジョンを地域と共有し、連携・協働しながら子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりが重要となっています。

本市においても、主体的・対話的で深い学びの実践により、確かな学力、豊かな心、心身の健やかな成長など、「生きる力」を育むとともに、郷土を誇りに思い地域を支え輝く人材の育成を地域と一体となって進める必要があります。

また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合が増加する中、早期からの一貫した支援に向け、特別支援教育への理解促進や専門性の向上、体制整備など、特別支援教育の充実を図る必要があります。

小中学校における教育環境については、児童生徒数の減少から学校の小規模化が進行する中、多様な学習機会や様々な個性に触れ、切磋琢磨できる集団的な教育環境の確保、公平な教育環境整備が難しくなりつつあり、学校規模を標準化させることを基本とした適正配置は必要かつ急務な状況にあります。

また、教育課題に対応し、より効果的な教育活動を一貫して推進していくためには、小中一貫教育の導入を図ることも必要となっています。

園児数・児童数・生徒数の推移 (単位：人)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
幼稚園	148	157	129	124	105
小学校	772 (18)	753 (23)	728 (22)	676 (27)	646 (26)
中学校	470 (10)	448 (12)	426 (13)	401 (11)	384 (9)
高 校	349	314	285	292	283

(資料：学校基本調査、総務部市長公室課)

※各年5月1日現在

※ () 内は、特別支援学級児童・生徒数を内数で表している。

用語解説

※ グローバル化……世界的規模に広がること。経済活動や社会活動などが地球規模でつながり、広がっていくこと。

基本事業とねらい

基本事業

① 確かな学力を育む教育の推進

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力などの学ぶ力を育成するため、児童生徒の学びに向かう力、基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力などをバランスよく育む教育を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
授業の理解度(小学校)(単位:%)	85.0	87.5	90.0	全国学力・学習状況調査で、「国語、算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」の問いに「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合
授業の理解度(中学校)(単位:%)	75.4	77.7	80.0	

基本事業

② 豊かな心を育む教育の推進

学校における道徳教育の充実を図るとともに、いじめの未然防止や早期発見、早期対応を図るための連携体制や相談機能の充実を図ります。また、不登校児童生徒への適切な支援に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
いじめ防止に対する理解度(小学校)(単位:%)	97.4	100.0	100.0	全国学力・学習状況調査で、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した児童生徒の割合
いじめ防止に対する理解度(中学校)(単位:%)	93.5	100.0	100.0	

基本事業

③ 健やかな体を育む教育の推進

生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフ*を実現するため、望ましい生活習慣を形成し、体力・運動能力の向上を目指します。また、学校給食などを通して食育などの健康教育の充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
基本的生活習慣の定着度(小学校)(単位:%)	81.9	85.4	89.0	全国学力・学習状況調査で、「朝食を毎日食べていますか」及び「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合
基本的生活習慣の定着度(中学校)(単位:%)	81.5	83.7	86.0	



学校給食の様子

用語解説

* 豊かなスポーツライフ……スポーツを「する」だけでなく、「みる」「教える」「語り合う」「支える」「極める」など、スポーツをより多くの接点から楽しむことができる生活のことを指す。

基本事業

④ 地域とともにある学校づくりの推進

学校・家庭・地域が「どのような子どもを育むのか」という目標を共有することで連携・協働し、目標の実現を図るため、コミュニティ・スクール^{*}の導入・活用を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
地域への関心や地域行事への参加 (小学校) (単位：%)	55.5	62.0	70.0	全国学力・学習状況調査で、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」及び「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いに「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合
地域への関心や地域行事への参加 (中学校) (単位：%)	30.7	50.0	70.0	

基本事業

⑤ 特別支援教育の推進

特別な教育的支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図り、社会の中で生きる力を育む教育を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
心身に障がいを持つ児童の就学支援が充実していると思う市民の割合 (単位：%)	65.4	72.7	80.0	市民アンケートで、「どちらとも言えない」・「無回答」を除いたうち、「満足」・「やや満足」と回答した市民の割合

基本事業

⑥ 教育環境の充実

安全で安心な学習環境の維持に必要な学校施設の修繕などを推進し、学習指導要領に沿った設備・教材などの整備を図ります。また、砂川高校は、在学中の資格取得、進路実績の向上、部活動の活発化などに向けた助成を行うことで魅力ある学校づくりの支援に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
施設・設備・教材などの整備に満足している保護者の割合 (単位：%)	83.3	84.5	90.0	学校評価アンケートで、「満足」・「やや満足」と回答した保護者の割合
砂川高校入学間口数 (単位：間口)	3	3	3	砂川高校の入学間口数

基本事業

⑦ 学びにつなげる支援の推進

義務教育を円滑に受けることができるよう、就学時健康診断を適切に実施するとともに、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の世帯に対する必要な支援に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
小中学校教育に満足している市民の割合 (単位：%)	73.4	76.7	80.0	市民アンケートで、「どちらとも言えない」・「無回答」を除いたうち、「満足」・「やや満足」と回答した市民の割合

用語解説

※ コミュニティ・スクール……学校運営協議会制度。学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのこと。

基本事業

⑧ 小中学校の適正配置の推進

児童生徒の減少傾向が続いていることに鑑み、適正な学校規模を確保するとともに、小中一貫教育など効果的な教育の推進により、子どもたちの健やかな成長と豊かな学びのあるより良い学校づくりを目指し、小中学校の適正配置を進めます。

指標名	現状値(R6)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
小中学校の適正配置の進捗率 (単位：%)	14.3	16.7	100.0	適正な規模で適正に配置されている市内小中学校の割合

関係個別計画

- ・砂川市教育目標（砂川市教育推進計画）
- ・砂川市立小中学校適正配置基本計画
- ・砂川市子ども・子育て支援事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画
- ・砂川市障害者福祉計画



小学校運動会



ALTと英語への関心を高める授業（小学校）

基本目標 3 豊かな心と学ぶ力を育むまち

施策
3-3

(社会教育)

地域とのつながりを育み、学ぶ環境の充実したまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

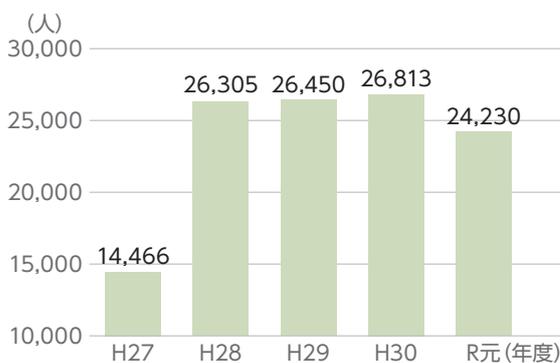
公民館や図書館の拠点機能を活かし、多世代を対象とした様々なことを学ぶきっかけづくりを推進するとともに、市民相互のつながりの形成を図り、学びと活動が好循環する環境の充実したまちを目指します。

現状と課題

地域は、家族形態の変容や人とのつながりが希薄化することで、社会的孤立が拡大するなど、様々な社会的・地域的な課題に直面しています。その課題解決に向けた個人の学習ニーズや、社会の要請に基づいて広く行われる教育の充実は、これからの地域社会において重要なものになっています。

そのため、社会教育施設の拠点として公民館における多様な学びのニーズに対応した学習プログラム及び講座などの充実、図書館における家庭・学校・地域と連携した効果的な読書活動の機会の提供、子育てを支援する家庭教育の充実、子どもたちを見守り育てる青少年健全育成活動の充実を図る必要があります。

公民館利用者数の推移



(資料：教育委員会公民館)

図書館蔵書数、貸出冊数及び市民1人あたり貸出冊数の推移



(資料：教育委員会図書館)

基本事業とねらい

基本事業

① 公民館における学習活動の推進

地域の交流の場であり、学習活動や地域づくりの中心的施設である公民館で、施設機能を十分に活かし、地域や社会的な課題解決、多様な教養などを誰もが学習できる機会を提供することにより、市民一人ひとりが主体的に学びあえる環境の充実に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
公民館利用者数 (単位：人/年)	24,230	25,520	26,810	公民館の年間延べ利用者数

基本事業

② 読書活動の推進

家庭・学校・地域・市が相互に連携し、その実情に応じて効果的・計画的に読書活動の機会を提供することにより、様々な機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるように努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
図書館における市民1人あたりの貸出冊数 (単位：冊/年)	3.8	4.1	4.3	図書館における市民1人あたりの年間図書貸出冊数

基本事業

③ 家庭教育支援の充実

家庭教育は全ての教育の出発点であるという重要性を認識し、子育てに関する悩み、不安解消につながる学ぶ機会や情報の提供に関する内容の充実に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
事業目的が達成されていると感じている家庭教育支援事業参加者の割合 (単位：%)	100.0	100.0	100.0	家庭教育支援事業の参加者アンケートで、実施した事業が目的に対して「十分達成された」・「だいたい達成された」と回答した参加者の割合

基本事業

④ 青少年健全育成活動の充実

学校・家庭・地域住民などが相互に連携・協力し合い、子ども達の安全で安心な居場所づくりや地域で子どもを見守り育てる環境づくりを進めるとともに、ボランティア活動への参画を促進するなど、青少年健全育成活動の充実に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
青少年健全育成活動の関連事業運営者の割合 (単位：%)	28.4	30.2	32.0	15歳以上人口のうち、青少年健全育成活動の関連事業の運営に参加した人の割合

関係個別計画

- ・砂川市教育目標（砂川市教育推進計画）
- ・砂川市子ども読書活動推進計画
- ・砂川市子ども・子育て支援事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画

基本目標 3 豊かな心と学ぶ力を育むまち

施策
3-4

(芸術・文化・文化財)
文化に親しみ郷土への誇りを育むまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民が芸術文化活動に親しみ、創造・発信する場を確保するとともに、文化財や郷土資料の適切な保存・継承などを推進することにより、心豊かで活力のある生活が享受でき、市の歴史や文化に触れる機会が確保され、郷土を尊重する心が育まれるまちを目指します。

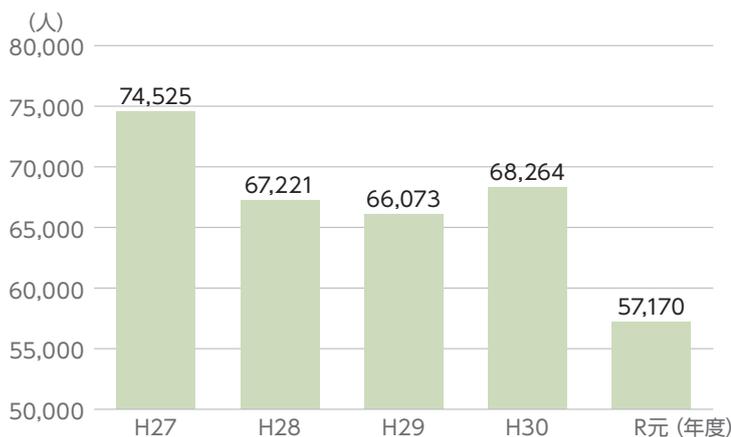
現状と課題

芸術文化については地域交流センターを拠点に、芸術文化団体への支援を行うことで、市民の関心が高まり、市民が主体的に活動を行うなど、鑑賞や発表機会の充実、新たな文化創造も醸成されてきています。

また、郷土資料については、適切な管理を行うとともに、郷土資料室特別展において活用するほか、指定文化財第1号である「街頭もちつき」の保存及び活用などへも支援を行い、郷土への誇りを高める機会の充実を図っています。一方、高齢化の進行により、芸術文化団体の構成員及び活動の減少が進んでいる現状にあります。

そのため、芸術文化団体の活動状況を広く情報発信することによる人材の確保や活動の活発化、新たな活動団体の創出のための支援の実施のほか、より多くの市民の協力を得て、郷土資料の新たな発掘や整理にも取り組む必要があります。

地域交流センターゆう利用者数の推移



(資料：教育委員会社会教育課)

基本事業とねらい

基本事業

① 芸術文化活動の充実

芸術文化の創造・発展、次世代への継承が行われ、市民に充実した芸術文化活動の参加機会が提供されるよう支援を行い、創造的で活力のある、心豊かな社会の形成を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
地域交流センター利用者数 (単位：人/年)	57,170	62,715	68,260	地域交流センターの年間延べ利用者数

基本事業

② 文化財の保護、郷土資料の保存・活用の充実

貴重な文化財を守り伝えるため、保護を図るとともに、市民の協力を得て郷土資料を保存・活用し、市民が文化財や郷土資料に親しむことのできるような環境づくりに努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
郷土資料室利用率 (単位：%)	8.2	10.6	12.9	総人口のうち、郷土資料室を訪れた人の割合

関係個別計画

- ・ 砂川市教育目標 (砂川市教育推進計画)



街頭餅つき



地域交流センターの育成活動 (キッズジャズスクール)

基本目標 ③ 豊かな心と学ぶ力を育むまち

施策
3-5

(スポーツ)

スポーツ・レクリエーションに親しみ、健康的で生きがいのある暮らしを推進するまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

スポーツ施設を適切に管理し、スポーツに取り組む環境を整備するほか、少年スポーツや高齢者、障がい者のスポーツへの取り組みを推進し、健康的で生きがいのあるまちを目指します。

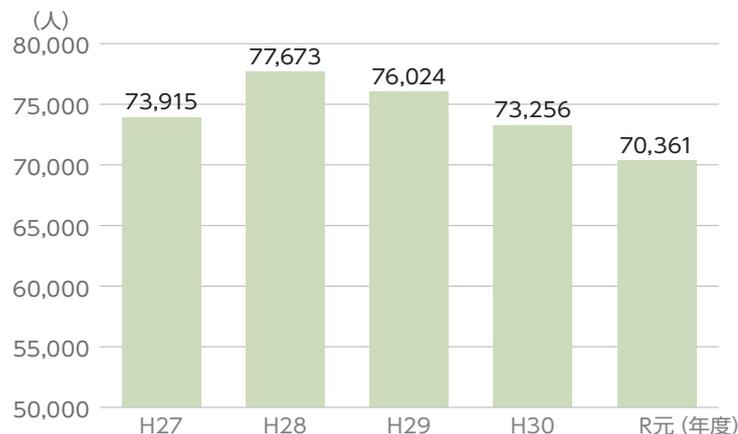
現状と課題

近年、スポーツの役割は、競技能力の向上を目指すだけでなく、健康づくりや、障がい者のリハビリ、地域のコミュニケーションの活性化、生きがいの創出、子どもの教育の場といった生涯学習の目的が重視されています。

本市では、人口が年々減少傾向にあり、次世代のスポーツの担い手が少なくなることが懸念されています。そのため、経年による劣化した施設の修繕を適宜行い、利用者やスポーツ団体がスポーツやパラスポーツに参加しやすい環境を整備する必要があります。

また、少年スポーツへの取り組みの継続のほか、高齢者や障がい者向けのレクリエーションの充実や、健康づくりのための施設利用など、これまでスポーツをしていない新たな層に働きかけることで、市民一人ひとりのスポーツに対する関心を高める必要があります。

スポーツ施設利用者の推移



(資料：教育委員会スポーツ振興課)

基本事業とねらい

基本事業

① スポーツ・レクリエーション活動の推進

関係団体と連携し、高齢者や障がい者向けのレクリエーションの充実や、少年スポーツへの支援を継続するとともに、健康づくりのための施設利用など、これまでスポーツをしていなかった新たな層への働きかけを図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
週に1日以上運動やスポーツをしている市民の割合 (単位：%)	33.8	41.9	50.0	市民アンケートで、「1週間に1日以上運動やスポーツをしている」と回答した市民の割合

基本事業

② スポーツ環境・施設の整備の推進

スポーツ施設の設備を適切に管理し、利用者やスポーツ団体がスポーツやパラスポーツに利用しやすい環境づくりに努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
スポーツ・レクリエーション施設が充実していると思う市民の割合 (単位：%)	27.3	38.7	50.0	市民アンケートで、「満足」・「やや満足」と回答した市民の割合

関係個別計画

- ・砂川市スポーツ推進計画



北光公園 (ヨット・カヌー)



アメニティタウンすながわマラソン大会